

# ～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

## 「学校・子供・家庭・地域・行政が連携してすすめる復興教育」(岩手県九戸村)

### 取組の基本理念

学校、子供、家庭、地域、行政の5者が協働で地域課題に取り組む岩手独自の県民運動である『教育振興運動』の考え方を基に、地域ぐるみで復興教育に取り組むことによって、5者が連携した地域コミュニティの活性化を図る。



### 事業概要

九戸村の子供会リーダーが、地域の方、保護者、先生方の代表、行政の担当者と野田村を訪問し、沿岸被災地の支援として自分たちに何ができるか、自分たちの地域が被災したときに、自分たちは何ができるかを考える体験学習とワークショップを行った。



被災した野田港での学習

### 取組の概要

**実施日** 平成25年7月20日(土)  
**参加者** PTA役員、学校関係者、  
 村内各小学校子供会リーダー、  
 地域住民、行政関係者、63名



#### 活動の流れ

- ①計画の立案・運営は行政(村)の担当者が行う。
- ②バスで、野田村を訪問する。
- ③NPO法人「チーム北リアス」の協力のもと、被災した野田村での学習をする。
- ④仮設住宅を訪問し、地元の山野会の方々と、炊き出し体験を行う。
- ⑤学習と体験の後、自分たちが見たこと、感じたこと、これからできることをワークショップでまとめ、発表し合う。
- ⑥地元に戻った後、まとめたものを各学校で発表する。
- ⑦村の文化祭で成果物を展示し、村民全体に活動の様子や、子どもたちの思いを伝える。

#### 活動の成果

- ★現地で学び、考えたことを、自分たちの学校、地域に還元するというスタイルで、復興教育を進めることができた。
- ★5者が共に学ぶことで、それぞれの役割や今後の課題について考え、見つめ直す機会となった。



被災した十府ヶ浦での学習



避難先となった神社での学習



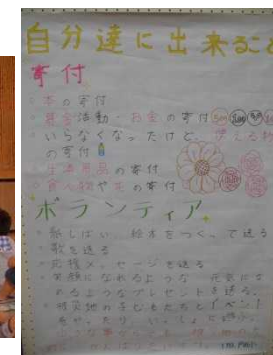
仮設住宅での炊き出し体験



ワークショップ  
『自分たちにできること』



活動の成果を学校で発表



地域の文化祭で成果を展示